

2024年 夏季参加報告書

参加プログラム：ケント大学

参加時の学年：2年、学部：経済、学科：経済

私が今回の留学に参加したのは、普段の生活から抜け出して新しいことをしてみたいという気持ちからだった。大学1年生としての1年間、私がしたことは授業、バイト、部活動のみで退屈感があり、このまま残りの3年間を同じように過ごすのは嫌だと思っていた。そこで選択肢としてあったのが留学であり、今までとは違う環境に身を置くことができる体験を通じて新たな発見や、反対に現地の生活を通して日本での普段の生活を違った角度から見ることができ、何か違った気づきを得れるのではないかと考え、応募した。それ以外にも、大学受験で新しい知識を得るといった楽しさを感じたためだったり、英語力を伸ばしたかったりその他たくさんの理由がある。また、行き先をイギリスにした理由は、まずイギリスの文化や建物に興味があったからである。そして私自身はこの留学が初めての海外渡航だったため、ホームステイ等よりも安心できる寮生活であったり、安全な大学内で生活することができるという点からこのケント大学の留学を選んだ。



つぎに現地の生活の様子について、私たちが行った時期は現地の長期休みの期間と被っており、人は比較的少なく終始落ち着いた雰囲気だった。大学内は自然がたくさんあり動物もたくさんいて、ゆっくりと時間が流れるように感じた。授業は先にも記述したように先生がずっと話しているのではなく、自分たちと会話をしながら教科書の内容を進めていく流れだった。自分から話す積極性が必要だと思う。また、日本でもやるようなリーディングやリスニングの授業だけでなく、授業の一環で行くお城や大聖堂に関する歴史やイギリスのマナーなどを学べる授業もあるため、ずっと楽しく学習できた。寮は武蔵の人たちと同部屋でほとんどの時間を一緒に過ごした。大学のスーパーにはほとんど必要なものがそろっているため心配することはないと思う。また、大学から歩いて30分ほどの位置にあるカンタベリーという街も治安が良く、そこにいる人たちもみなフレンドリーな印象を持った。ちなみにこの留学の期間で一番気に入った観光地はこのカンタベリーだった。街並みがとてもきれいで、街中を流れている川も透き通っており、現地のガイドさんの説明を聞きながら乗ったボートはとても楽しく印象に残っている。そのほかにもフィッシュアンドチップスがい

いしいお店や、お土産店、観光スポットが充実しており、何回行っても飽きなかった。そして現地の気候はとても穏やかで、私たちの期間では雨は3日ほどしか降らず、湿気もなく乾燥しており日本の秋の気候のように感じた。ただ朝と夜は上着を着ても寒いと感じるほど気温が低かった。対して日中は日差しが強いのでサングラスや日焼け止めを持って行った方がいいと思う。

続いて留学を通して成長できた点だが、一番成長を感じたのは外国人と英語で会話をする自信だと思う。またそこからさまざまな人と会話したことで、自分のシャイな部分の性格も少し改善できたような気がする。現地の人のみならず、飛行機の座席でも隣の席の外国人が気軽に話しかけてくれて、そこで英語で会話したことによって行く前と比べて自信がついた。そして何よりもその会話すべてが楽しく、自分の知らない世界を知れたり自分の英語でコミュニケーションが取れていることがとても嬉しかった。私は行く前までは相手を気にしすぎて自分から会話を始めることがほとんどなかったが、この留学を通して日本に帰ってきてからは、もっといろんな人と話したいという感情をもつようになり自分の気持ちの持ちように変化が生まれ、内向きな性格から変わったように思う。

今後の目標としては、まずは英語を使う機会を絶やさないことである。英語の授業を履修したりMCVを活用したりして週3回は英語を話したり聞いたりする環境を作りたい。また、この留学の期間の1ヶ月弱がとても濃く、長く感じた。SNSなどには全く触れず、新しいことを毎日体験することで一日一日がとても充実することが分かったから、これからはスマホを見る時間を減らして今までやったことのないことに挑戦してみようと思う。これまでの同じことをただ繰り返すような生活から、外に出て様々なことを経験することができる生活に変化させて充実した大学生活を送りたい。そして最後に、もっと世界中の国々について異なる雰囲気や文化に触れてみたいと強く思ったので、大学生のうちにたくさんの国に旅行に行き異文化に触れたいと思う。

